

改変○：一人称・語尾・方言・男女 ※その他は改変せず台本通りに

『ころがえし』

「ただいま」

誰もいない部屋 つぶやいた声は 闇に溶けて消えていく

疲れた身体を横たえ スマホを開く

流れてきた歌が懐かしくて あの頃の自分を思い出した

上手くいかないことばかりで 気持ちだけが焦って

毎日憂鬱で 苦しくて 自分が嫌でたまらなかった

周りはみんな ちゃんとしているのに

前に進んでいるのに

なんで自分は こんななんだろう？

そんな時、知人にもらった一冊の本

もうタイトルも中身も忘れてしまったけれど

その人なりのエールだったのだと 今ならわかる

もらってすぐは開く気にもならなくて

部屋のすみに置きっぱなしだった

でも、事あるごとに本の話がされ 根負けして読んだんだっけ

改変○：一人称・語尾・方言・男女 ※その他は改変せず台本通りに

不思議と 見透かされていたように 刺さる言葉が多くて

読んだ後 まるで雲が晴れたように

少し心が軽くなったことを覚えている

いや、本だけではなく

その人の存在があったからこそ だったのかもしれない

懐かしい歌に自然と目が潤んでいく

ああ、今日も少し

心が疲れているみたいだ

スマホが震えた

君からの通知に 思わず口元がゆるむ

「タイミングいい」

スマホの中から聴こえてくる 君の声が心に沁みた

君にとっては 日常で

特別でもなんでもないことなんだろうけれど

その声も話も 鼻歌も

改変○：一人称・語尾・方言・男女 ※その他は改変せず台本通りに

時折みせる 面白いところも 真面目なところも
みんなみんな いつも 心を軽くしてくれる
あの時の あの本みたいに：

それって すごいことだと思うんだ

そういう君に出会えたこと 一緒に過ごせること
本当に嬉しく思っているよ

ありがとう

何度伝えても 足りないぐらい

ありがとう

これから そのままの君でいてね

いつか自分も

君や これから出会う誰かにとって

そんな人になれたらいいのに……と思った

もらった優しさを 返して行けたら……と思ったんだ